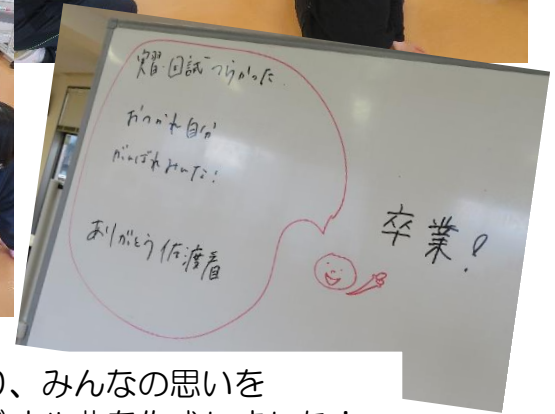
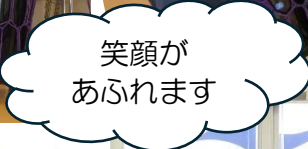


伝統文化体験

国家試験後に太鼓体験を行いました！

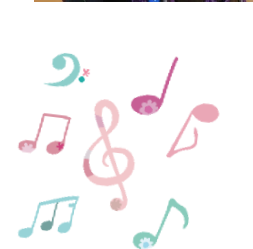
太鼓に触れて音を確かめます



3年間の思い出を語り、みんなの思い出をリズムに変えてオリジナル曲を作成しました！



21期生と「たたこう館」のサミーちゃん、みかちゃんと記念撮影



卒業記念講演会

佐渡市出身で看護師としての活動の他、執筆活動をされている寺田美由記様にご講演をお願いしました。テーマは「私の看護過程」。看護師としての看護の実際や患者とのエピソード、さらに「詩」に出会ったきっかけなどをお話していただきました。



学生の感想

- 看護師として働いてきた数々の職場でのエピソードを聞き、看護師として働くためには常に専門的な知識を身につけなければならないという話が印象に残りました。患者一人ひとりの疾患や年齢を考え、ケアを提供するためには日々の勉強を欠かさなければいけないと感じました。(3年生)
- 様々な試練にも立ち向かいながら看護師として働き続けたことが印象に残っています。子育てをしながら働くことの大変さ、一般病棟ではない場所で働く事の大変さなどを乗り越えながら働き続けるということは自分にはできないと思ったからです。将来自分がどんな場所でどのように働くかはつかず、何が起きるのかわからないことに対してきたいと不安を感じているけど、今回の講演を通して、目の前のことに一生懸命取り組んでいこうと思いました。(2年生)
- 生涯勉強をしていく必要があることを改め感じた。色々な病院、病棟で働いた経験談を聞くのはとても勉強になりました。医療は日々進歩しているため知識を更新する必要があると感じた。(1年生)

寺田美由記様は2005年には詩集「看護過程」が第38回小熊秀雄賞を受賞されています。現在は、埼玉詩人会理事、日本詩人クラブ新人賞選考委員としてご活躍中です。